

[Redacted]

楊  
立  
花  
成  
方  
四  
十  
九  
花  
園  
司  
全  
部



附表第三

關東上陸地支局									
昭和二十一年三月四日									
史實調査參考資料報告									
所屬部隊 (固有部名)		職官		終戦時ノモノヲ 記ス		摘要			
獨混四九旅団		旅団參謀 陸軍中佐 三重野信							
全右所在地		氏名		職ノ變更及主ナル 參加戰團名ヲ 記ス					
ヤツノ島									
支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴		昭三、三、一、支那駐屯軍司令部第一聯隊中隊長 昭三、一、一、歩兵第四一聯隊附、昭四、四、一、教育總務部附 昭三、四、一、新編軍司令部、昭一、六、一、軍事參謀長副官 昭一、六、一、一、陸軍省人事局附、昭一、八、一、一、陸大專計 學生入校、昭三、三、一、一、陸軍省附屬參謀、昭一、九、四、一、 第三軍參謀、昭五、六、一、一、獨混四九旅參謀							
所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要		獨混四九旅、昭一、九、七、二、編成 步兵七六師 砲兵一大隊(砲二十三門) 高射砲一中(四門) 工兵一中隊							
所屬部隊作戰經 過ノ概要		自昭一、九、六、二、三、ヤツノ島防空隊中(第一次) 自昭一、九、六、二、九、ヤツノ島第二防空隊中 自昭一、九、七、二、一、〇、ヤツノ島第三防空隊中 自昭一、九、七、二、五、ヤツノ島對標部防空隊中 自昭一、九、七、二、八、ヤツノ島對標部防空隊中							

附、表 第三

關 東 上 陸 地 支 局

昭和 二十 年 参 月 六 日

史 實 調 査 参 考 資 料 報 告

所 属 部 隊 (固有 名)		氏 名		摘 要
北 方 隊 第 一 中 隊 司 令 官		松 藤 茂		終 戦 時 ノ モ ノ ヲ 記 ス
全 右 所 在 地		氏 名		職 ノ 變 更 及 主 ナ ル 参 加 戦 闘 名 ヲ 記 ス
支 那 事 變 以 降 ニ 於 ケ ル 自 己 ノ 略 歴		同 年 六 月 同 右		
所 在 部 隊 ノ 編 成 年 月 日 及 編 制 裝 備 ノ 概 要		同 年 六 月 同 右		
所 属 部 隊 作 戦 經 過 ノ 概 要		同 年 六 月 同 右		
終 戦 (又 ハ 主 力 ノ 戦 闘 終 了) 後 ノ 概 況		同 年 六 月 同 右		
歸 郷 (又 ハ 連 絡) 先		同 年 六 月 同 右		
其 ノ 他 ノ 参 考 事 項		同 年 六 月 同 右		
備 考		同 年 六 月 同 右		



附表第三

關東上陸地支局

昭和二十一年三月六日

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊 (固有名称)	職官	氏名	終戦時ノモノヲ 記ス
全右所在地	ヤソフ島	旅団副官 陸軍大尉 古川馬親	職ノ變更及主ナル 参加戦闘格ヲ 記ス
支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴	一、昭和十九年三月、陸軍士官学校 一、昭和十九年四月、陸軍士官学校 一、昭和十九年五月、陸軍士官学校 一、昭和十九年六月、陸軍士官学校 一、昭和十九年七月、陸軍士官学校 一、昭和十九年八月、陸軍士官学校 一、昭和十九年九月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十一月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十二月、陸軍士官学校	一、昭和十九年三月、陸軍士官学校 一、昭和十九年四月、陸軍士官学校 一、昭和十九年五月、陸軍士官学校 一、昭和十九年六月、陸軍士官学校 一、昭和十九年七月、陸軍士官学校 一、昭和十九年八月、陸軍士官学校 一、昭和十九年九月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十一月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十二月、陸軍士官学校	職ノ變更及主ナル 参加戦闘格ヲ 記ス
所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要	一、昭和十九年三月、陸軍士官学校 一、昭和十九年四月、陸軍士官学校 一、昭和十九年五月、陸軍士官学校 一、昭和十九年六月、陸軍士官学校 一、昭和十九年七月、陸軍士官学校 一、昭和十九年八月、陸軍士官学校 一、昭和十九年九月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十一月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十二月、陸軍士官学校	一、昭和十九年三月、陸軍士官学校 一、昭和十九年四月、陸軍士官学校 一、昭和十九年五月、陸軍士官学校 一、昭和十九年六月、陸軍士官学校 一、昭和十九年七月、陸軍士官学校 一、昭和十九年八月、陸軍士官学校 一、昭和十九年九月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十一月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十二月、陸軍士官学校	職ノ變更及主ナル 参加戦闘格ヲ 記ス
所屬部隊作戦經 過ノ概要	一、昭和十九年三月、陸軍士官学校 一、昭和十九年四月、陸軍士官学校 一、昭和十九年五月、陸軍士官学校 一、昭和十九年六月、陸軍士官学校 一、昭和十九年七月、陸軍士官学校 一、昭和十九年八月、陸軍士官学校 一、昭和十九年九月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十一月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十二月、陸軍士官学校	一、昭和十九年三月、陸軍士官学校 一、昭和十九年四月、陸軍士官学校 一、昭和十九年五月、陸軍士官学校 一、昭和十九年六月、陸軍士官学校 一、昭和十九年七月、陸軍士官学校 一、昭和十九年八月、陸軍士官学校 一、昭和十九年九月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十一月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十二月、陸軍士官学校	職ノ變更及主ナル 参加戦闘格ヲ 記ス
終戦(又ハ主力 ノ戦闘終了) 後ノ概況	一、昭和十九年三月、陸軍士官学校 一、昭和十九年四月、陸軍士官学校 一、昭和十九年五月、陸軍士官学校 一、昭和十九年六月、陸軍士官学校 一、昭和十九年七月、陸軍士官学校 一、昭和十九年八月、陸軍士官学校 一、昭和十九年九月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十一月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十二月、陸軍士官学校	一、昭和十九年三月、陸軍士官学校 一、昭和十九年四月、陸軍士官学校 一、昭和十九年五月、陸軍士官学校 一、昭和十九年六月、陸軍士官学校 一、昭和十九年七月、陸軍士官学校 一、昭和十九年八月、陸軍士官学校 一、昭和十九年九月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十一月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十二月、陸軍士官学校	職ノ變更及主ナル 参加戦闘格ヲ 記ス
歸郷(又ハ連絡) 先	一、昭和十九年三月、陸軍士官学校 一、昭和十九年四月、陸軍士官学校 一、昭和十九年五月、陸軍士官学校 一、昭和十九年六月、陸軍士官学校 一、昭和十九年七月、陸軍士官学校 一、昭和十九年八月、陸軍士官学校 一、昭和十九年九月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十一月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十二月、陸軍士官学校	一、昭和十九年三月、陸軍士官学校 一、昭和十九年四月、陸軍士官学校 一、昭和十九年五月、陸軍士官学校 一、昭和十九年六月、陸軍士官学校 一、昭和十九年七月、陸軍士官学校 一、昭和十九年八月、陸軍士官学校 一、昭和十九年九月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十一月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十二月、陸軍士官学校	職ノ變更及主ナル 参加戦闘格ヲ 記ス
其ノ他ノ參考事 項	一、昭和十九年三月、陸軍士官学校 一、昭和十九年四月、陸軍士官学校 一、昭和十九年五月、陸軍士官学校 一、昭和十九年六月、陸軍士官学校 一、昭和十九年七月、陸軍士官学校 一、昭和十九年八月、陸軍士官学校 一、昭和十九年九月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十一月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十二月、陸軍士官学校	一、昭和十九年三月、陸軍士官学校 一、昭和十九年四月、陸軍士官学校 一、昭和十九年五月、陸軍士官学校 一、昭和十九年六月、陸軍士官学校 一、昭和十九年七月、陸軍士官学校 一、昭和十九年八月、陸軍士官学校 一、昭和十九年九月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十一月、陸軍士官学校 一、昭和十九年十二月、陸軍士官学校	職ノ變更及主ナル 参加戦闘格ヲ 記ス
備考	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス		

附表第三

關東上陸地支局

昭和二十一年三月五日

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊  
(固有名称)

第五混成旅団第九旅団司令部  
陸軍少佐大尉

終戦時ノモノヲ  
記ス

全右所在地

南洋群島ヤミヤ島  
氏名 力武彌壽保

支那事變以降ニ  
於ケル自己ノ略  
歴

昭和十四年八月以來ノ南洋群島南洋勤務  
昭和十九年三月以降ヤミヤ島南洋勤務

職ノ變更及主ナ  
ル参加戦闘名ヲ  
記ス

所在部隊ノ編成  
年月日及編制裝  
備ノ概要

昭和十九年七月一日独立混成旅団編成  
旅団司令部員七人旅団司令部員  
司令部員五名

所屬部隊作戦經  
過ノ概要

昭和十九年三月對空戦斗  
南洋群島南洋勤務

最後ノ所屬部隊  
ヲ主ニシ向ソノ  
以前ノ所屬部隊  
ノ分ヲモ併記ス

終戦(又ハ主力  
ノ戦闘終了)  
後ノ概況

終戦後ヤミヤ島ニ在リ米軍ノ指揮下  
ニ置カレ戦後経過作戦等事  
通次各支隊毎に記ス

歸還輸送ノ状況  
ヲモ併記ス

歸郷(又ハ連絡)  
先

佐賀縣

其ノ他ノ參考事  
項

ナシ

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

附 表 第 三

關 東 上 陸 地 支 局				昭和二十一年三月五日	
史 實 調 査 参 考 資 料 報 告					
所 屬 (固有 部 隊 名)	職 官	氏 名	摘 要	終 戦 時 ノ モ ノ ヲ 記 ス	職 ノ 變 更 及 主 ナ ル 参 加 戦 闘 名 ヲ 記 ス
獨立第 九 旅 団 司 令 部	兵 務 科 陸 軍 中 校 少 尉 諸 藤 利 男	諸 藤 利 男			
全 右 所 在 地	昭 和 十 六 年 十 月 八 日 工 兵 方 二 十 聯 隊 二 入 營 昭 和 十 七 年 十 月 滿 洲 方 九 二 〇 部 隊 二 轉 属 昭 和 十 八 年 十 月 任 兵 務 少 尉 昭 和 十 九 年 四 月 第 九 旅 団 派 隊 昭 和 十 九 年 七 月 獨 立 第 九 旅 団 二 編 入				
支 那 事 變 以 降 ニ 於 ケ ル 自 己 ノ 略 歴					
所 在 部 隊 ノ 編 成 年 月 日 及 編 制 裝 備 ノ 概 要	昭 和 十 九 年 七 月 一 日 獨 立 第 九 旅 団 編 成 獨 立 歩 兵 大 隊 七 砲 兵 一 个 大 隊 高 射 砲 一 个 中 隊 工 兵 一 个 中 隊		最 後 ノ 所 屬 部 隊 ヲ 主 ニ シ 尚 ソ ノ 以 前 ノ 所 屬 部 隊 ノ 分 ラ モ 概 記 ス		
所 屬 部 隊 作 戦 經 過 ノ 概 要	昭 和 十 九 年、二 十 年 対 中 戦 争 並 ニ 対 俄 戦 争 部 隊 戦 争				
終 戦 (又 ハ 主 力 ノ 戦 闘 終 了) 後 ノ 概 況	米 軍 ノ 指 揮 二 依 リ 武 装 解 除 戦 場 掃 除 道 路 作 業 等 ヲ 実 施 遂 次 一 部 ヲ 歸 還 ス		歸 還 輸 送 ノ 状 況 ヲ モ 併 記 ス		
歸 郷 (又 ハ 連 絡) 先	福 岡 縣				
其 ノ 他 ノ 参 考 事 項	十、五				
備 考	將 校 ニ 記 載 セ シ メ 第 一 復 員 省 史 實 部 ニ 送 付 ス				

關東上陸地支局

昭和二十一年三月五日

史實調查參考資料報告

摘  
要

所屬部隊 (固有名称)	職官	終戦時ノモノヲ 記ス
獨逸浪隊第四隊團	旅團司令部附 陸軍少尉 酒井 忠	
全右所在地	氏名	
ヤツノ島		
支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴	昭和十九年七月二日司令部附 昭和十九年二月三日司令部附演習参加	職ノ變更及主ナ ル参加戦闘名ヲ 記ス
所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要	獨逸浪隊第四隊團 昭和十九年七月二日司令部附	
所屬部隊作戦經 過ノ概要	獨逸浪隊第四隊團 昭和十九年七月二日司令部附	最後ノ所屬部隊 ヲ主ニシ向ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ概記ス
終戦（又ハ主力 ノ戦闘終了） 後ノ概況	獨逸浪隊第四隊團 昭和十九年七月二日司令部附	歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス
歸郷（又ハ連絡） 先	獨逸浪隊	
其ノ他ノ参考事 項		
備考	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス	



## 摘要

0792

附表 第三

關 東 上 陸 地 支 局

昭 和 二 十 一 年    三 月    四 日

史 實 調 査 參 考 資 料 報 告

所 屬 部 隊 (固有 名)	職 官	全 右 所 在 地	支 那 事 變 以 降 二 於 ケル 自 己 ノ 略 歴	所 在 部 隊 ノ 編 成 年 月 日 及 編 制 裝 備 ノ 概 要	所 屬 部 隊 作 戰 經 過 ノ 概 要	終 戦 (又 ハ 主 力 ノ 戦 闘 終 了) 後 ノ 概 況	歸 郷 (又 ハ 連 絡) 先	其 ノ 他 ノ 參 考 事 項	備 考
終 戦 時 ノ モ ノ ヲ 記 ス	摘 要								
獨立混成第幾旅團司令部 西カリン諸島ヤブ島	中村 高 官 修	氏 名	昭和十九年七月廿五日 第一次防空戦斗 参加 同年 九月十一日 第二次防空戦斗 参加	昭和十九年 編成 歩兵六個大隊 砲兵一大隊 高射砲一中隊 工兵一中隊	昭和十九年 四月十四日 カワガ島上陸 同年 七月廿五日 第一次防空戦斗 参加 同年 九月十一日 第二次防空戦斗 参加	米軍ノ要路ニ基キ港湾施設ノ修理、道路補修 不発爆弾、砲弾ノ處理ヲナス、 逐次歸還船ニ依リ歸還シ、旅團司令部ハ 昭和二十年三月四日内地歸還人	京都府	ナシ	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス
職ノ變更及生ナ ル參加戦闘名ヲ 記ス	最後ノ所屬部隊 ヲ主ニシ尙ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ概記ス	歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス							

浦賀上陸地交局

(昭和二十年十二月十六日)

史實調查參考資料報告

[illegible]